

栃木県吹奏楽連盟＜季刊＞広報誌 平成28年度2号

吹奏太郎





目 次

★ 理事長 巻頭言 「吹奏楽部にとって今が大切な時期！」	1
栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男	
★ 1. 第22回 東関東アンサンブルコンテスト 出場団体の感想	1
平成29年1月28日（土）29（日）実施	
主催：東関東吹奏楽連盟 会場：茨城県結城市アクロス	
★ 2. 第17回 栃木県吹奏楽ソロコンテスト 参加者の感想	2
平成29年2月4日（土）実施	
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：栃木県教育会館 大ホール	
JBA関東甲信越支部 第15回 中学生高校生管打楽器ソロコンテスト 参加者の感想	
平成29年2月25日（土）実施	
主催：公益社団法人日本吹奏楽指導者協会関東甲信越支部 会場：東京音楽大学Jスタジオ	
★ 3. 栃木県吹奏楽連盟講習会の報告	6
平成29年3月11日（土）12（日）実施	
主催：栃木県吹奏楽連盟 会場：栃木県教育会館及びコンセーレ	
★ 4. コンサート情報	8
栃木県吹奏楽連盟加盟団体から広報部に寄せられたコンサートの情報です	
★ 5. クリニック情報	9
★ 編集後記	9
栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之（作新学院高校）	



「吹奏楽部にとって今が大切な時期！」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

吹奏楽で活動している人たちの90%以上が学校に関係する部員たちです。その部員を確保するのが4月・5月に最も確率が高いことと思いますので、この時期に全力投球して先生方の力を発揮しましょう。チャンスを逃してしまうと1年間の活動力を低下させることになりかねません。入学試験、卒業式、入学式、学年の変わり目、と目まぐるしく多忙極まりない学校の師走の時期ですが、頑張るしかないと思います。

こんな時、コンクールなどで上位とされる学校の指導者の皆さんが言うには「新入生が入学してくる前に新2・3年生に対し個人の基礎的音作りが大切だね」とよく耳にすることがあります。これを思うと活動の暇な時期で、指導者の多忙な時期こそ、一つのことに拘りを持って基礎練習に専念させることだだと思います。ある程度楽器が出来ている生徒を、もう一度基礎の大切さを指導されることが上手になる秘訣だろうと思います。

また、この時期は卒業生が部活動を離れ、残された1・2年生にとっては先行きが見えず、見る力もまだ持てない生徒たちであるがため、何を行ったらいいのか迷いの時期でもあります。

目的や方向性を失ってしまうと、宙ぶらりんとなり、寒さや開放感も加わって無気力となり、退部の方向へと向かってしまう生徒も出てしまう恐れがありますので、こういう時期こそ、先生方が方向性を教え、基礎練習の大切さを導き、努力することだと思います。

4月になると新1年を迎えて、慌ただしくなり、少子化による部員の確保が非常に難しい面があると思いますが、熱意を傾けて一人でも多くの部員確保に努力して、より活気のある校内きっての部活動にしましょう。

また、今からでも部員とともに計画を立て、校内の諸行事での演奏、校内の片隅で新入生に対する演奏会など、部活動の素晴らしさ、管楽器、音楽の魅力を発揮できるよう部員皆で頑張って計画を立てて実施してみましょう。

1 第22回東関東アンサンブルコンテストに出場団体の感想

「東関東アンサンブルコンテストに出場して」

高根沢町立高根沢西小学校 金管バンド部ウエストファンファーレ 安間 馨私達は、一月に結城市で行われたアンサンブルコンテスト東関東大会に出場しました。

初めて出場した東関東大会では私たちよりも上手なチームがたくさんあってとてもおどろきました。特に茨城県や千葉県のチームは息の使い方も私達よりも上手でミスも少なくてすごいなと思いました。演奏中はもちろん練習室など会場すべての空気がはりつめていて、上手なチームでもとてもきんちょうしているのがすごく伝わってきました。

私達が演奏した曲は曲の雰囲気がよく変わる曲だったのでテンポの変わり目や曲の節目を重点的に練習してきました。合奏では先生の指導のもと細かいミスを減らすために何回も同じ練習をしてきました。しかし、本番では思うように力が発揮できず悔しい思いをすることになってしまい、これが今の自分達の実力なんだなと思いました。

来年は在校生のみなさんに本番でも練習通りの力を発揮できるようにたくさん練習してがんばってほしいと思います。また、私も春から中学生なので、いつか東関東大会で「ゴールド 金賞」という言葉をいただき、全国大会に出場したいと思っています。



「第22回 東関東アンサンブルコンテストに参加して」

宇都宮市立宮の原中学校 部長 鶴 蒔 大 空

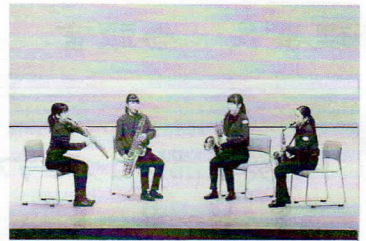
私たちサクソフォン四重奏は、東関東アンサンブルコンテストに栃木県代表として出場させて頂きました。

校内予選から始まり、地区予選、県大会まで進み、県代表として団体名を呼ばれたときの嬉しさは今でも鮮明に覚えています。県代表としての重みを感じ、これまで以上の努力をすることを仲間と共に再確認して東関東大会に臨みました。

音程、音色、テンポ等、いくつかの練習課題をクリアするための日々の練習、そして更に上の仕上がりを目指しての反復練習を何回も行いました。なかなか思うように演奏することが出来ず、落ち込んでしまうことも多々ありましたが、四人で気持ちを一つにして乗り越えてきました。

東関東大会のステージでは、これまで頑張ってきた自分たちを信じて、私たちのサウンドを会場みなさんに聴いていただくために「楽しんで演奏しよう」と言葉を交わしてからステージに向かいました。結果は銀賞と悔しい思いがありますが、アンサンブルコンテストに向けた練習の充実感と達成感には大変満足しています。そしてまた、これからもステップアップを目指して努力を惜しまないことを心に誓いました。ともに東関東大会に出場したクラリネット四重奏の仲間と切磋琢磨して過ごした時間は大切な宝物です。

最後にご指導くださった先生方、応援し支えてくれた仲間に感謝しています。ありがとうございました。



「第22回 東関東アンサンブルコンテストに参加して」

栃木県立石橋高等学校 2年 アルトサクソフォン 本村 眞 咲

私達サクソフォン8重奏は1人がインフルエンザにかかってしまったために、やむを得ず7人で出場することになりました。彼女は数日前から体調を崩しており、予想はできてはいましたが、8重奏で今まで練習してきた曲を7人で演奏するというのはとても難しかったです。人が1人いないということにすぐに対応できず、悔いの残る演奏となってしまいました。

東関東大会はやはり全体のレベルが高く、聴いていて鳥肌が立ち感動するような演奏ばかりでした。そんなレベルの高い大会で演奏できたことはこれからの励みになりました。同じ年齢のはずなのに差は大きく、私達はまだまだなのだ実感もできたので、これから東関東のレベルに追いつけるように今まで以上に1回1回の練習に打ち込もうと思います。

この悔しさをバネに全力で頑張っていきたいと思います。



2 第17回 栃木県吹奏楽ソロコンテストの参加者の感想 JBA関東甲信越支部 第15回 中学生高校生管打楽器ソロコンテストの参加者の感想

「第17回栃木県吹奏楽ソロコンテストに出場して」

高根沢町立阿久津小学校 6年 ユーフォニアム 菅 山 歩 香

私は、今年初めて阿久津小の代表として吹奏楽ソロコンテストに出場させて頂きました。ソロコンに出てみたいと思ったきっかけは、4年生の時に先輩が出場しているのを応援に行き、「かっこいい、自分もやってみたい!」と思った事です。ソロで吹けるようにうまくなりたくて、5年生からはレッスンに通い始めました。

そして、今回出場させて頂いたコンテストですが、当日、私は会場に行く前に1時間ほど練習をしました。その時は「今日は調子がいい」と思いましたが、いざ、音出し室に入ると、皆すごくじょうずで緊張しました。舞台裏に行くのと暗くて、いよいよ本番なんだと、緊張が増しました。前の人の演奏がとても上手くて自分は大丈夫かなと不安になりました。しかし、舞台に立つと、部活の皆が中央の目立つところで、元気に明るく応援してくれたので、



少し落ち着きました。演奏が始まると適度に緊張がぬけて、いつもより調子よくできたと思います。

私は、このコンテストでグランプリを頂き、東京で開かれた中学生・高校生管打楽器ソロコンテストでも演奏する事ができました。皆年上の上手な人たちばかりだし、同じく小学生で演奏した人もとても上手く、緊張はしましたが、楽しく演奏ができました。こういう機会が頂けて本当に良かったと思います。

最後に、応援して下さいった皆様、指導して下さいった先生方、そして大会関係者の皆様に感謝の気持ちを伝えられたらと思います。

本当にありがとうございました。

「第17回 栃木県吹奏楽ソロコンテストに出場して」

小山市立小山城南中学校 2年 フルート 小久保 星来

私が演奏したフルート協奏曲の作曲者シュターミッツは、モーツァルトよりも古い時代の方です。現代曲よりも譜面通り、正確に演奏しなければミスが目立ってしまうという特徴があります。今まで私は好きな曲を楽しく吹ければいい、という気持ちでいました。でも、この曲は今までの私の練習方法を大きく変化させてくれました。



私は、県大会でグランプリをいただき、初めてほめてもらえる言葉を心から「嬉しい」と感じる事ができました。頑張って練習したことが結果にでました。表彰式の後、時間が経つにつれ「本当に1位を取れたんだ」「1位ってこんなに嬉しいんだ」と実感できました。

その後、関東甲信越大会に参加させていただいて、私の気持ちは「悔しい」に変わりました。県大会のCDを繰り返し聴いて、ミスした所を頑張って練習して臨んでも全国大会までは行けませんでした。県大会とは違う、何か大きな壁があると感じました。これからの練習で、それが何なのかに気づけるよう努力していきたいです。

最後になりましたが、ご指導いただいた先生方、伴奏の先生、吹奏楽部の皆さん、ソロコン参加に際して大変お世話になりました。ありがとうございました。

「ソロコンテストに出場して」

宇都宮市立豊郷中学校 2年 ユーフォニアム 斎藤 郁登

僕は今回のソロコンテストに出場することが決まってから、毎日猛練習しました。この時期は、部活動の時間が短いため、部活動だけでは十分な練習時間が取れず、夜も学校以外の場所で練習をしました。夜の練習では、両親に音程やフレーズの取り方を細かく指導してもらいました。

コンテストで僕が演奏した「イギリスの讃美歌による変奏曲」は、規定時間より長い曲のため、一部カットをしなければなりませんでした。この曲の前半には、とても素敵なメロディーがあります。僕は、そのメロディーがどうしても吹きたいと思ったので、曲を何度も聴き、そのメロディーが入るように工夫しました。出来上がりは、とても満足のいくものになり、心を込めて演奏することができました。



県大会当日は練習通りに吹くように心がけました。しかし何度かミスをしてしまい、少し悔しい気持ちでした。結果発表の時は、とてもドキドキしていましたが、準グランプリを受賞することができ、とても嬉しい気持ちになりました。そして栃木県代表として頑張らないといけないなと思いました。早速、関東大会に向けて猛練習を始めました。その結果、曲の完成度も更に高まり、本番を迎えることができました。

関東大会当日の音出し部屋では、たくさんの人の音を聴くことができました。高音がきれいに出る人が多く、みんなとても上手だったので、見習いたいと感じました。

本番のステージでは、楽しんで演奏することが出来ました。それは、会場である東京音楽大学まで応援に足を運んでくれた友達がいたからです。僕は、とても心強く感じました。残念ながら、全国大会に出場することはできませんでしたが、自分としては、ミスなく、いい演奏ができたことに満足できました。

今回、各学校から一人しか出場することのできない大会に参加でき、とても良い経験になりました。今後は、この経験を生かし、自分に足りないところを補えるよう、日々の練習に力を入れていきたいと思います。

「第17回 栃木県吹奏楽ソロコンテストと第15回 中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに出場して」

宇都宮市立陽南中学校 1年 マリンバ 月橋 早桜

私は今回初めて、学校代表としてマリンバでソロコンテストに出場させていただきました。ソロコンテストへの出場が決まってからは、たとえ短時間でも、毎日必ず練習しようと心に決め、学校から帰って来てからの時間や休みの日を使って、一生懸命練習に励みました。



栃木県吹奏楽ソロコンテスト当日は、とても緊張しましたが、練習の成果を十分に発揮することができ、自分としては満足のいく演奏をすることができました。表彰式で金賞、そして、次のコンテストである関東甲信越大会出場の推薦状をいただけた時は、本当に嬉しかったです。毎日頑張ってきて良かったなと心底思いました。

また、関東甲信越大会に向けては、栃木県吹奏楽ソロコンテストでいただいた講評をもとに、毎日練習に励みました。特に、常に大切な音を意識しながら弾くことや、音ムラを無くすことなどを頭に置き練習しました。関東甲信越大会当日、私が一番感じたことは、出場者一人ひとりのレベルがとても高いということでした。この日も自分としては満足のいく演奏はできましたが、もっともっと練習をしなければ、これ以上、上のコンテストへの出場は叶わないと思いました。

今回、学校代表としてソロコンテストに参加させていただけたことは、私にとって、とても貴重な経験となりました。これも、日頃ご指導いただいている先生や先輩方、仲間たちのおかげです。この気持ちを忘れずに、これからも練習に励んでいきたいと思います。本当にありがとうございました。

「関東甲信越管打楽器ソロコンテストを終えて」

小山市立第三中学校 2年 フルート 伊澤航太郎

私は、県のソロコンテストで自分の音や音楽を聴いて頂く機会をもらいました。演奏した「黒つぐみ」は、フラッター奏法や細かいパッセージがあり、鳥の動きを繊細に表現しなくてはいけない難しい曲で、練習中は常に、「失敗をしないだろうか」「自分の音色は聞いてくれている人にとってどうなのか」を不安に思っていました。本番では、予想もしていなかった県代表に選ばれ、喜びよりも驚きでいっぱいでした。

関東甲信越大会では、自分の音楽を作ることに集中しました。いざステージに立つと緊張でうまくいかない部分もありましたが、私にとって楽しい時間となりました。また、他の出演者の演奏から、高い技術と表現の仕方や良い音色などを聴くことで、自分にとって大きな物を得ることができました。今回得たことは、これからの練習に生かし、たくさんの人を感動させられるように努力したいと思います。

最後に、このような機会を与えていただいた県吹奏楽連盟をはじめ、たくさんの先生方に感謝をしています。本当にありがとうございました。

「第17回 栃木県吹奏楽ソロコンテスト、第15回 中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに出場して」

栃木県立真岡女子高等学校 2年 クラリネット 五月女琴音

今回、JBA 関東甲信越支部第15回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに、栃木県代表として出場する機会をいただき大変嬉しく思います。

県大会のときは、リードミス無くすることが一番の目標でした。重心を下に、力を抜くことを意識しました。本番では、思っていたより緊張せず、冷静に、そしてリードミスをせずに演奏することができました。あのときの演奏は、とても楽しく、音楽をやってきて良かったと思える瞬間でした。

関東甲信越大会のときは、気負わないで、楽しく演奏しようと臨みました。しかし、プログラム1番ということもあり、思うような演奏をすることができませんでした。しかも、リードミスがでてしまい、後味が悪いまま終わってしまうのであらうか…と絶望しました。

しかし、結果第3位をいただき、また演奏する機会をいただくことができました。全国大会は初めての経験になるので、不安がたくさんありますが、とても楽しみです。関東甲信越大会の悔いを改められるよう、練習に励もうと思います。

ソロコンテストに出場するにあたって、たくさんの方々にお世話になっています。特に伴奏をしてくださっている先生は、ご自分のお仕事があるにもかかわらず、合間を縫って練習していただき、感謝でいっぱいです。お世話になっている方々に向け、感謝の気持ちを演奏、そして結果に出せるよう、努力しようと思います。

※五月女琴音さんは第3位となり、第21回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト(全国大会)への出場が決定いたしました。

「JBA関東甲信越支部 第15回 中学生高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

栃木県立宇都宮清陵高等学校 2年 オーボエ 高橋 萌

私は中学校でオーボエに出会い、美しい音色に夢中になって毎日練習に励んできました。そして、高校生になったらソロコンテストに挑戦してみたいと思っていました。

栃木県吹奏楽ソロコンテストで金賞をいただき、関東甲信越支部大会に出場できたことは、私にとって夢のような話。栃木県の代表として恥ずかしくない演奏をと思い、毎日練習に練習を重ねて当日を迎えました。会場は東京音楽大学のJスタジオでした。歴史ある東京音楽大学を目の前にした時の緊張感は、今思い出してもドキドキします。気持ちを落ち着かせて、練習の成果を全部出し切れるよう、深呼吸を何度も何度もしたのを覚えています。演奏が始まって、レベルの高さに圧倒されましたが、みんなの本気が伝わってきて、私も負けたくないという気持ちに切り替わりました。

結果は、全国には届きませんでしたが、素晴らしい演奏を聴くことができた時間は、私にとって貴重な経験になりました。そして、オーボエがもっと好きになり、その気持ちは自信となり、今は誇りをもって演奏しています。

今年は高校生最後の夏です。みんなで力を合わせてコンクールに向けて練習に励みたいと思います。そして、応援してくださった方々や支えてくださった方々に、感謝の気持ちを込めて、これからも美しい音色を奏でていきたいと思っています。



「第17回栃木県吹奏楽ソロコンテスト、第15回中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに出場して」

幸福の科学学園高等学校 2年 アルトサクソフォン 石津 誠也

まず、はじめに、栃木県代表に選出していただき、ありがとうございました。

ソロ・コンテストに出場したのは、今年度が初めてでしたが、いい結果が残せてよかったです。自分は、まだまだ良い練習方法ができておらず、音色や音形も安定していなかったのですが、中学三年間練習でつらかった経験をもとに、演奏しました。本番は、珍しくあまり緊張せず、リラックスして演奏できましたが、本番後、うまくいかなかったところが気になりすぎて、本番前よりも内心緊張していました。表彰式で自分が金賞と分かった時は、思わず叫びそうでした。そして、代表者として選ばれたときは本当なのかわからず、少し困惑してしまいましたが、賞状を受け取り、実感がわいてきて、思わずガッツポーズ寸前でした。それとともに、まだこの曲が演奏していけるという嬉しさが募っていきました。

今日のコンテストでは、自分にとって大きな経験となり、もっとうまくなりたいという心の後押しとなりました。来年もコンテストに出場し、再び良い成績を残せるよう、努力・精進していこうと思います。ありがとうございました。

「JBA関東甲信越支部 第15回中学生高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

栃木県立宇都宮中央女子高校 2年 フルート 赤木 志帆

私は今回はじめてソロコンテストに出場しました。私は今まで吹奏楽という団体戦の中でフルートパートを担ってきました。常に全体の調和を考え、アンサンブルすることに重きをおいていました。しかしソロは、自分が主役であり、選曲から音楽作りまで自分自身で決め、表現していかなければなりません。今回、そのことを心から楽しんで取り組むことができました。

私が選んだ曲はロバート・ムチンスキーの「フルートとピアノのためのソナタ」です。この曲は爽快な走りだしからはじまり、細かい連符と気迫、また明るさだけでなく寂しさも含み、歌いどころが満載な曲です。私は、この作品を聴いたとき一瞬で好きになり自分で吹いてみたいと思いました。技術的にも難しい曲ではありますが、曲をしっかり理解することに努め、表現の仕方にも趣向を凝らしました。

ソロの醍醐味は自分が主役になれることです。しかし、その一方、一人で舞台にのらなければならない恐怖もあります。そんな時、励ましの言葉をくれる仲間たちがいました。大会の前日に中女吹部の合言葉である「結」を部員の皆が歌ってくれた時、私はたくさんの方々に支えられていると感じ、とても嬉しかったです。関東大会の時は県とは別の緊張感があり、とても勉強になりました。応援してくださった方々全員に感謝の気持ちでいっぱいです。最後に演奏会のご案内です。三月二十五日に栃木県総合文化センターで宇都宮中央女子高校吹奏楽部の定期演奏会があります。私たちの絆の結晶をぜひ見にいらしてください。



3 栃木県吹奏楽連盟講習会 報告

2016 年度 栃木県吹奏楽連盟講習会／平成29年3月11日（土）12日（日）

テーマ「サウンドトレーニングと曲の合奏の前にやるべき練習とは」 ～活動する上で大切にしたいこと～

講師 作新学院高等学校吹奏楽部 顧問 三橋 英之

1. 目標を掲げる

クラブとしての年間の目標 個人個人の目標 掲示する（看板・ボード）

マナー 服装 ルール チームワーク

2. 役割の分担

部長などリーダー格の生徒だけが動く × 所属する全ての部員にやりがいを感じられる活動

係分担（会計・楽譜係・楽器係・写真係・オーディオ係・ユニフォーム係・レクリエーション係・環境美化係・マーチング係・接待係・秘書・保健係・出欠係など）

役割分担 行事ごとの責任者を決め、タイムスケジュールや行事内容のお膳立てする とにかく全員に役割を割り当てる

演奏会のプログラム・ポスター・チラシ・チケット作成の分担

掃除当番 鍵当番 植物に水やり当番など

3. 練習計画（計画性のない練習は ×・休養日は必ず設ける・スイッチのオンオフ 練習予定表の作成（月間・年間） 日常の練習スケジュール

4. 楽器のチェック（楽器のメンテナンス）

マウスピース リガチャー ピストン バルブ キー タンポ 拔差管 スライド リード オイル グリス クロス 掃除棒

5. 奏法と姿勢

正しい姿勢（構え）と練習に取り組む心構え

6. 音型（音形）の統一・アタック コア リリース

リズム 符点8分音符+16分音符（タッカ）など常識

音符 パーツ フレーズ

7. 練習に必要なもの

メトロノーム チューナー 譜面台 ファイル JBCバンドメゾッド 教則本 ドレーン入れ

8. 練習

各個人のウォーミングアップ→パート・セクション別練習→合奏前にチューニング→全体合奏

スケール→B♭重ね→バランス練習（ハーモニーバランス）→リズム練習

→ハーモニー→曲合奏 楽譜に小節番号 ソリストに保険（皆がソロの練習）

9. チューニング・効率よく 2列 キーボードを弾く係

チューナー ハーモニーディレクター（キーボード）スピーカー

10. スケール

全調スケール（12音階・長調、短調）スラーとタンギング 分散和音
アーテキュレーション

11. 録音・録画・再生

スマートフォンの活用 ヤマハ即レコ YouTube JBL

自分の個人練習・パート練習・合奏練習の演奏を録音し、聴く



自分の個人練習・パート練習・合奏練習の演奏を録音し、見る（特に指揮者や打楽器弦バス奏者）

モニターする→良くない点を探す、見つけ出す→それを指摘する（具体的に指示）→やり直す

12. 良い演奏を聴く

プロの演奏 有名校の演奏 演奏会に行く

13. ホール練習

指導者（あるいはリーダー）がバンド（ステージ）から離れてモニターする
客観的に自分のバンドの演奏を聴く

14. セティング

クラシックスタイル ポップスタイル 1列目の並び方 少人数の場合の工夫

15. 会計

郵便振替

16. バンドジャーナル

情報の収集 楽譜の付録

17. 楽譜の取り扱い

楽譜のコピー（著作権） レンタル譜

18. 時間の節約 練習時間の確保（時間をどう使うか）

練習場への移動・準備・片付け

19. 指揮

1拍目を予測させる（加速・減速） 拍子の図形

脱力 膝の屈伸 腕時計や装飾 スカート 腕まくり 録画

20. マーチの練習 BD SD Cym

21. 演奏への過度のパフォーマンス ×

22. その他 レパートリーを増やす 読譜力の向上にも役立つ

楽譜を使って合奏力を高める教則本はいらない

第Ⅰ部 作新学院高等学校吹奏楽部コンサート

Renaissance（ルネッサンスー復興ー）

真島 俊夫 作曲

Mont Fuji ー富士山・北斎の版画に触発されてー

真島 俊夫 作曲

チューバとウインド・アンサンブルのための協奏曲

Gary D. Ziek 作曲

キャリオカ

岩井 直博 編曲

TUBA 田村 優弥 氏

栄冠は君に輝く

三宅 祐人 編曲

Quiet Zone

天野 正道 作曲

シャンソン・メドレー

真島 俊夫 編曲

スペイン

真島 俊夫 編曲

第Ⅱ部 モデルバンドコンサート

<A バンド>

行進曲《ジャスト・ビー・セブン!》

鈴木 英史 作曲

マーチ「春風の通り道」

西山 知宏 作曲

ROMANESQUE

James Swearingen 作曲

<B バンド>

行進曲《ジャスト・ビー・セブン!》

鈴木 英史 作曲

マーチ「春風の通り道」

西山 知宏 作曲

ARSENAL

Jan Van der Roost 作



4 コンサート情報

♪第4回 宇都宮市立星が丘中学校吹奏楽部定期演奏会

平成29年3月25日(土) 14時開演 栃木県総合文化センター・サブホール 入場無料
演奏曲目: トゥーランドット, 情熱大陸, 千と千尋の神隠しメドレー 他

♪第15回 栃木県立宇都宮中央女子高等学校吹奏楽部定期演奏会

平成29年3月25日(土) 15時開演 栃木県総合文化センター・サブホール 入場無料
演奏曲目: マインドスケープ, オズの魔法使い, コパカバーナ,
ありがとう(竹内 一樹編曲 委嘱初演) 他

♪第12回 栃木県立石橋高等学校吹奏楽部定期演奏会

SPECIAL FULL COURSE~全ての人たちへ~
平成29年3月26日(日) 15時開演 小山市文化センター・大ホール 入場無料
演奏曲目: TRITTICO, 「君の名は。」コレクション, 2017年度吹奏楽コンクール課題曲より 他

♪第6回 East Music Concert (栃木県立宇都宮東高等学校・附属中学校音楽部)

平成29年3月26日(日) 13時30分開演 栃木県教育会館・大ホール 入場無料
演奏曲目: スピリテッド アウェイ《千と千尋の神隠し》より他

♪第26回 栃木県立大田原高等学校合唱部・吹奏楽部定期演奏会

平成29年3月29日(水) 12時30分開演・17時30分開演(2回公演)
那須野が原ハーモニーホール 入場無料
演奏曲目: 吹奏楽「ディスコキッド初版」, エル・カミーノ・レアル, オーメンズ・オブ・ラブ,
DAIKOテキーラ 他

♪宇都宮ウインドクルーコンサート 第19章

平成29年4月30日(日) 14時開演 宇都宮市文化会館・大ホール
入場料 前売り・大人¥800-(当日券は¥1000-) 高校生以下¥500-
演奏曲目: 吹奏楽のため交響詩 波の見える風景, ミュージカル「レ・ミゼラブル」,
ディズニー・プリンセス・メドレー, 花束を君に 他

♪第31回 宇都宮北高等学校吹奏楽部定期演奏会

平成29年5月6日(土) 13時30分開演 宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
入場料 指定¥1200- 一般¥800- 学生¥500-(当日券は各¥200-増)
演奏曲目: ミュージカル「アニー」より, 他

♪作新学院高等学校吹奏楽部 フレッシュ・グリーンコンサート 2016

平成29年5月27日(土) 15時開演予定 宇都宮市文化会館・大ホール
入場料 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)
演奏曲目: 2017全日本吹奏楽コンクール課題曲, ニュー・サウンズ・イン・プラス, 復興(真島俊夫作曲),
Quiet Zone, シャンソンメドレー, ステージドリルショー「オペラ座の怪人」より 他
問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~18時

♪第9回 宇都宮南高等学校吹奏楽部定期演奏会

平成29年4月29日(土) 14時開演 宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目: バッハの名による幻想曲とフーガ, ドラゴンクエストI, II, III, サウンドオブミュージックより
2017年度吹奏楽コンクール課題曲よりI, II

♪作新学院高等学校吹奏楽部&東京農業大学第2高等学校吹奏楽部 ジョイントコンサート in 高崎

平成29年6月4日(日) 14時開演予定 群馬音楽センター
入場料 前売り・大人¥1000- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)
演奏曲目: 2017全日本吹奏楽コンクール課題曲, ニュー・サウンズ・イン・プラス, ステージドリルショー 他
問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~18時

♪第52回 真岡高等学校吹奏楽部 定期演奏会

平成29年6月18日(日) 14時開演 真岡市民会館 入場無料

演奏曲目：2017全日本吹奏楽コンクール課題曲より、他

♪作新学院高等学校吹奏楽部 第52回 定期演奏会

平成29年10月8日(日) 15時開演 宇都宮市文化会館・大ホール

入場料 前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)

演奏曲目：2017全日本吹奏楽コンクール課題曲、2017ニュー・サ운ズ・イン・プラス、
ステージドリルショー「オペラ座の怪人」より 他

ゲスト：片岡 雄三 (トロンボーン)

問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826 平日16時～19時 休日9時～18時

※案内をいただきながら、すでに終了したコンサート

♪第12回 栃木県立小山城南高等学校吹奏楽部定期演奏会

平成29年3月19日(日) 14時開演 小山市文化センター・大ホール 入場無料

5 クリニック情報

2018 JAPAN BAND CLINIC 第48回 日本吹奏楽指導者クリニック

日程：平成29年5月19日(金)～21(日) 会場：静岡県浜松市・アクティシティ浜松

詳細はホームページで確認ください。

編集後記

栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之 (作新学院高校)

2020(平成32)年に東京オリンピックが、2022(平成34)年には第77回国民体育大会(国体・栃の葉国体に次いで2回目の開催)が開催されます。東京では新国立競技場の工事が本格化し、本県でも栃木県総合運動公園での工事が始まっています。そうすると国体での式典音楽の準備もそろそろスタートするのではないかとワクワクしています。あまり期待は出来ませんが、式典音楽のために多大な予算が付くことを祈っています。

国体の時に主力になるのは、平成29年度の中学1年生です。彼らが高校3年生になる時に国体を迎えることになります。今から国体の式典演奏に向けて演奏力向上のために強化をしていかななくてはなと思っています。

私は先日の栃木県吹奏楽連盟講習会で、講師を務めさせていただきました。その中で、「～活動する上で大切にしたいこと～」を中心に話をさせていただきました。部活動は本来文字通り楽しくて仕方がない場であるべきで、毎日有意義な活動がなされ、結果として音楽性溢れる演奏が出来ればとの思いで一生懸命話をさせていただきました。国体という機会を捉え、このイベントに向けた合同での練習機会も演奏力向上のためにうまく活用し、本県吹奏楽がますます盛んになることを願ってやみません。

※原稿の依頼がありましたら、忙しいとは思いますが、何とかお書き頂き、広報部三橋までお送り頂けますようお願いいたします。

また、広報誌に対する要望・意見・感想などお待ちしております。是非お寄せください。